

## 初月まちづくり連携活動協議会 視察研修

場 所 嶺北地域研修視察 実施日 令和元年11月23日(土)

＜大原富枝文学館、プラチナセンター、土佐町産業文化祭等視察＞



プラチナセンターにて土佐嶺北地域の活動について研修

### 発刊に寄せて

新しいまちづくりを目指した「初月まちづくり連携活動協議会」におきましては、数々の研修会や先進地域の実践に学びながら、初月地区の一層の活力のある発展を願って歩んでまいりました。

特に本年度は、嶺北地方の協同した地域活動に学び、地域の人々の住民力の成果に感動いたしました。

また、初月小学校と連携をはかり、「共に生きる」という大単元のもとに、子ども達の視点で初月地域の良さや課題について学習し、その成果発表を聞きました。この学習では人間関係の大切さや住みよい地域づくりの課題が提起され、新しいまちづくりへの指針を得ることができました。

さらに、「子育てと地域・家庭の果たす役割」と題して、高知県教育相談研究会会長の横田隆先生をお招きし講演会を開催しました。この講演では、親子の絆や地域ぐるみの連携した活動の在り方等について数々の示唆をいただきました。

今後におきましては、まちづくり活動の活性化と推進体制の強化をめざして「推進委員会」を構成し、活動の活性化を図りたいと考えておりますので一層のご協力をお願いいたします。

初月まちづくり連携活動協議会 会長 森田道明

# 『子育てと地域・家庭の果たす役割』

～子どもたちのために、つながる力を培おう～

高知県教育相談研究会 会長 横田 隆

子育ては、今まで地域を基盤として、家庭が大きな役割を果たしてきました。しかし今は、地域での人間関係が希薄化し、核家族化が進む中で、子どもとつながる（かかわる）大人が大幅に減り、子育てが難しい時代を迎えています。そのため、地域や家庭で本来担っていた子育ての役割や責任が学校に求められるようになりました。



その結果、『学校が抱える問題は、複雑化・多様化し学校だけで対応することが困難な時代』となっています。まさに、子育て受難の時代です。

このような環境のもと、子どもたちの“自尊感情（自分が好きだと思う自己評価の感情）や対人関係スキル（人と付き合うコツ）”は、年々低下しています。そのため、同年齢の子どもとかわることや、学級という集団で生活することが苦手な児童

生徒が増えてきたのです。

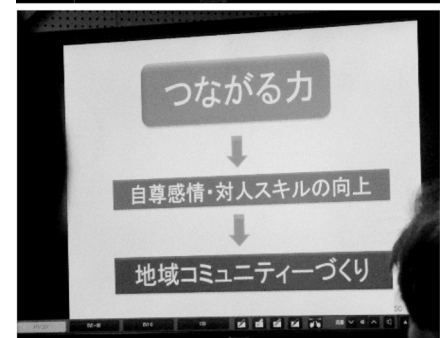
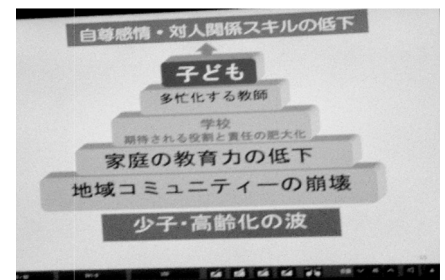
このことは、増え続ける「いじめや不登校」の根っこにかかわる大きな問題となっています。それでは、これからの地域や家庭の果たす子育ての役割とは何でしょうか。子どもたちのために、初月小学校を中心とした地域コミュニティ（集団）づくりを更に進めていくことです。

「コミュニティを再生させるために、特に重要なことは」という調査で上位に挙がったのは、「①地域に根ざしたキーパーソン存在、②人々の地域コミュニティへの帰属意識、③挨拶など、人と人とのコミュニケーションやつながり」です。

やはり、地域で人と人がつながる機会を増やし、“つながる力”を向上させていくことが必要なのです。そして、“つながる力”をもとに、子どもたちの“自尊感情や対人関係スキル”を地域・家庭・学校をあげて、向上させていってほしいのです。

では、**自尊感情はどのように育っていくのでしょうか。**

子どもの快感情はもちろん、不快な感情（泣く・怒る・わめく等）も受け止めること。話を聴いたり、待ったり、任せたりすること。そして、周りの多くの大人が子どもを認め、励まし、勇気づける声かけを一杯することにより、育っていきます。次に、対人関係スキルの向上に必要なことは、小さい頃から返事・挨拶・聴く・時間を守る等のスキルを身につけさせることだと言われています。「してみ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」という山本五十六の言葉があります。親や地域の大人が自分の姿を子どもに見せながら、実際に体験させ、ほめてやって、獲得させていくものです。子どもは地域の宝。未来を担う子どもたちのために、地域の皆さんが“つながる力”を更に培ってってください。



# 初月地区で活動している団体の行事紹介

<初月校区青少年育成協議会>

## 子ども達と共に育ち、つながる地域へ

初月校区青少年育成協議会 会長 吉村 敦美

私共は、「子ども達の健やかな成長を願い、地域の子どもは地域で育てよう」との使命感で活動しております。餅つき大会、エコ事業、親子ふれあいツアーなどの主催行事（別表参照）や、他団体と一緒に子ども達の安全を守る活動を続けています。子ども達と顔見知りになれること、笑顔に出会えること、行く先々に知った方がいて、困った時に発信できる先があるという安心感が活動の励みになっています。子ども達の為の活動が、地域をつないでくれています。

今年度、初月小学校3年生の総合的な学習「共に生きる」のフィールドワークへの参加と、その実践報告を参観しました。グループに分かれ、体の不自由な方へインタビューをしてわかったこと、その人達の思いになって初月地区を歩き気づいたこと、さまざまな立場の方にとって、温かく住みやすい町とするために自分達に出来ることの発表があり、子ども達から、教わり気づくことが沢山ありました。

また、情報を集めまとめる力、伝える力がしっかりと身につけていることに感心させられました。子どもを取り巻く環境の変化から子どもの育ちが危惧される昨今、遅しく育てている姿に安堵したことでした。

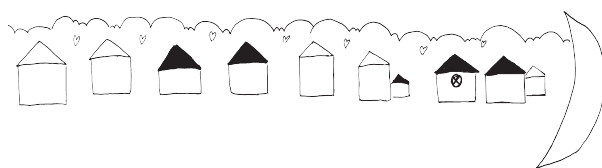
これからも、学校を核として、子ども達と共に育ち、増々つながる地域となるように、様々な行事を行っていきます。ご参加、ご協力をお願いします。



12/8 エコ事業（子ども43人、大人32人）

（別表）

主 催 行 事	
餅つき大会	<ul style="list-style-type: none"><li>・湯の里老人ホーム年末餅つき大会</li><li>・高知ろう学校創立記念行事餅つき大会</li></ul>
エコ事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・クリスマス・お正月飾り作り</li></ul>
親子ふれあいツアー	<ul style="list-style-type: none"><li>・うどん・コンニャク作り （工石山青少年の家）</li><li>・県内、県外ツアーを隔年毎で実施 （今年度は、県森林総合センターにて里山体験）</li></ul>



◎ 次回は初月防災会の活動をご紹介します。

◎南海トラフ地震が発生したら？

◎備えておくといいことは？

行事を行うにあたり、各町内会、各種団体にご協力をいただいています。

# 子どもたちと初月まち歩き ～ともに生きる～



ほくたち・わたしたちは、そう合てきな学習の時間に、「ともに生きる」をテーマに、さまざま「まな立場」の方にして、初月の町が「よりあたくく住みやすい町」となるように、自分たちにて「できることを考えて」まとめています。



初月小 三年生より

令和元年11月6日、7日（車いす体験しました。）



（地域の高齢者の方に話を聞きました）



令和2年2月8日 発表



（保護者と一緒に地域の方々も発表を聞きました。）



各グループとも初月の商店街等、現地に行って、良い箇所、悪い箇所を実際に確認して、地図などに作成し発表できて、良かったと思えました。ただ調べただけではなく、相手の立場になって考えたり、行動を続けていきたい気持ちも汲み取り、発表態度や発表内容に感心しました。よく地域の実態を学んでいます。といった地域の参加者の方々より感想をもらいました。

今後も学校、地域、各種団体の皆さんと連携をとり、初月のまちづくりを考えていきます。

## 私たちが地域活動応援隊です！

地域活動応援隊とは・・・地域の課題解決に向けた活動の促進や、地域と行政の協働による地域づくりを推進するために、専任ではなく通常業務と兼務した市職員「地域活動応援隊」が地域内連携協議会の会議等に参加しています。初月では、現在3名の地域活動応援隊が活動しています。皆さんよろしくお祈いします！



森

皆さんと一緒に頑張りますので、よろしくお願いします。



道脇

地域活動を元気に応援します。



和田

今年も地域活動をサポートさせていただきます！

☆ 地域活動応援隊の活動は、高知市地域コミュニティ推進課の所管です。（担当：蒲原）

## あしがき

令和2年度は研修視察やまちづくり講演会、地域の団体との意見交換会等を予定しています。ご参加、ご協力をお願いします。ご意見、ご感想も併せてお寄せください。

● 発行元：初月まちづくり連携活動協議会

● 編集責任者：森田道明

● お問い合わせ先：初月ふれあいセンター（住所：高知市南久万119-1 / 電話：872-5527）